

【表敬訪問】シンガポール国立青少年評議会（NYC）グローバルオフィス
 アシスタントディレクター（グローバルオフィス）：インタン・サフィナス・
 ビンティ・モード・タウフィック 氏
 アシスタントマネージャー（グローバルオフィス）：ディナ・シャズナ・タン 氏
 アシスタントマネージャー（ジャパデスク）：ミッシェル・リン 氏
 【視察】シンガポール国立蘭園（世界遺産『シンガポール植物園』内）
 【企業訪問】
 講師：バンダイナムコスタジオシンガポール COO 南 寛樹 氏

2月5日（木曜日） 【学校交流】ニーアン・ポリテクニク
 2月6日（金曜日） 【学校交流】テマセク・ポリテクニク
 【視察】アワ・タンピネス・ハブ（OTH：行政施設、公共施設、商業施設、
 スポーツ・ レジャー施設等が一体となった複合施設）
 【ホームステイ】
 【ホストファミリー対面式・ホームステイ】

2月7日（土曜日） 【ホームステイ】
 2月8日（日曜日） 【ホームステイ・ホストファミリー歓送会】
 【視察】マリーナバレー、マーライオン公園、中華街、リトルインディア

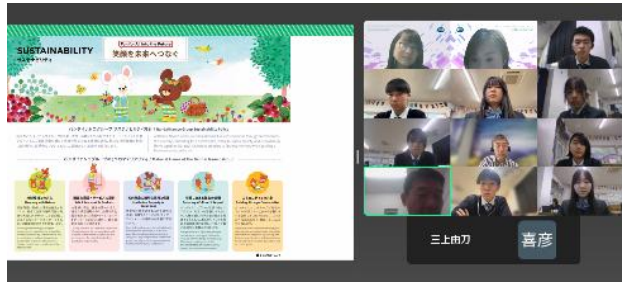
2月9日（月曜日） 【ワークショップ】報告会準備（渡航成果のとりまとめ、帰国後の活動計画
 （アクション・プラン）の作成）
 【報告会】渡航成果・帰国後の活動計画発表
 【視察】アラブストリート
 チャンギ国際空港より出発

2月10日（火曜日） 羽田空港到着

2. 記録写真

プレプログラム（事前学習）

	
2025 年 8 月 26 日【講義】 「ようこそ、日本アセアンセンターへ」	2025 年 8 月 26 日【講義】記念撮影



2025 年 12 月 6 日【講義】テーマ関連講義
「バンダイナムコ世界展開と SDGs 方針」



2026 年 1 月 22 日【参加者説明会】
福山市立福山高等学校

派遣プログラム



2026 年 2 月 4 日【表敬訪問】
在シンガポール日本国大使館



2026 年 2 月 4 日【表敬訪問】シンガポール国立青
少年評議会（NYC）グローバルオフィス



2026 年 2 月 4 日【視察】シンガポール国立蘭園



2026 年 2 月 4 日【企業訪問】
バンダイナムコスタジオシンガポール



2026 年 2 月 5 日【学校交流】
ニーアン・ポリテクニク



2026 年 2 月 6 日【学校交流】
テマセク・ポリテクニク



2026 年 2 月 6 日【視察】
アワ・タンピネス・ハブ



2026 年 2 月 7 日【ホームステイ】



2026 年 2 月 8 日【ホームステイ】全家庭



2026 年 2 月 8 日【ホストファミリー歓送会】



2026 年 2 月 8 日【視察】マリーナバラーヂ



2026 年 2 月 8 日【視察】マーライオン公園



2026 年 2 月 8 日【視察】チャイナタウン



2026 年 2 月 8 日【視察】リトルインディア

	
2026 年 2 月 9 日【ワークショップ】	2026 年 2 月 9 日【報告会】
	
2026 年 2 月 9 日【報告会】集合写真	2026 年 2 月 9 日【視察】アラブストリート

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 高校生

アワ・タンピネス・ハブは、自分の街にも欲しくなるようなショッピングモールでした。可能な限り資源の利用を抑え、リサイクル活動、水の再利用や、エアコンを使わずに全ての部屋で大型の扇風機を利用しているなど、SDGs を重視していました。大型の扇風機だけでも十分に過ごしやすく、日本のショッピングモールでは、エアコンがたくさん使われているので、少し減らした方がいいのではと思いました。目先の利益だけでなくさまざまな世代の人や収入の人に目を向けながら共存していく姿勢が印象に残りました。

◆ 高校生

アワ・タンピネス・ハブでは、市民の意見を積極的に取り入れることが街全体の幸せにつながっていると強く感じられました。

エアコンを使わずに大型の扇風機を使うことで、非常に多くの電力を節約できる事にとっても驚きました。また、施設自体がとても大きいため、多くの人の力が必要となりますが、その中で障がいのある方々が活躍できる場が設けられており、互いに支え合い、全員がより良い関係を育んでいる様子がとても印象的でした。

◆ 高校生

シンガポールでの思い出として強く残っているのは、人の温かさです。言葉がうまく通じない場面でも、ゆっくり話してくれたり、気遣ってくれたりする姿に何度も助けられました。人の優しさが、この国の魅力の一つだと感じました。アクション・プランでは、子ども新聞を書いて近くの小学校に配り、公民館に飾ってもらいたいと思います。

◆ 高校生

学校交流がとても良かったです。理由としては、実際に現地の人と英語で会話をし、質問をたくさんしたことで、日常において日本と違う箇所を山ほど発見することができ、夢中になって質問をしました。いつか、在シンガポール日本国大使館で行われているジャパン・クリエイティブ・センター（JCC）のイベントで、現地の子供と日本の大学生が交流する機会を作り、授業では学ぶことができない日常会話や流行りの言葉を題材にした交流などを提供してみたいです。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 視察先関係者

参加した生徒の皆様は、海外での仕事や多文化交流などに非常に興味がある方々だったので、終始前のめりで講義を聞いて下さいました。プレゼンターとしても非常にやりがいがあり、逆に元気をもらえました。お客様を笑顔にする、という事をモットーに日々開発業務を行っておりますが、参加者の皆様は普段ゲームをされる方も多かったので、普段あまり接点のない「お客様」と直接お話してきたことは非常に有意義でした。特に彼らにゲーム開発を知ってもらい、いろいろとご意見をいただいたことは我々にとっても非常に勉強になりました。日本の優秀な学生さんをどんどん海外で活躍させる、または日本に海外の優秀な学生さんを招いて日本の学生と交流させ、彼らから刺激を受け世界に羽ばたくきっかけをつくる、という事は将来の日本の国力の回復・更なる発展にもつながると思います。

◆ 視察先関係者

日本代表団と交流し、彼らがシンガポールの地域社会や文化に関心を持ち、積極的に関わっている様子を見ることは、とても意義深い経験でした。

◆ 学校交流関係者

テマセク・ポリテクニク（TP）の学生と福山の高校生との交流は、特に印象的でした。お互いの生活について率直に語り合い、強い絆を築いていく姿を見ることができ、とても素晴らしかったです。本校の学生たちは、日本語能力をさらに高めたいという関心をより一層強めています。今後もJENESYSプログラムに末永くご協力できましたら幸いです。テマセク・ポリテクニクでの年次交流も歓迎いたします。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等



2026 年 2 月 4 日 (Instagram) 高校生 今日は在シンガポール日本大使館とシンガポール国立青少年評議会 (NYC)、バンダイナムコシンガポールスタジオに訪問させていただきました。日本大使館では、日本の魅力や文化を発信しようと努めていらっしゃる、地方自治体との連携をはかり、ローカルな催しを様々に行っていることを学びました。シンガポール、日本のどちらにも利益をもたらす関係を築いていました。 シンガポール国立青少年評議会 (NYC) は、若者の育成に取り組んでいる機関でした。未来に貢献する若者を育てるために社会問題のディスカッションや、自発性を促すイベントを沢山行っていました。私たちの参加する JENESYS にも当てはまることで、誇りに感じました。 バンダイナムコシンガポールスタジオ様では、ゲームソフトを完成させるまでのプロセスを教えてくださいました。一つのゲームが完成するのに 300 名以上の方が関わり、それぞれがそれぞれの責任を果たしているのだと知り、すごくカッコ良かったです。国を超えてゲームを作り人々に笑顔届けようとする姿に感動しました。	2026 年 2 月 6 日 (Instagram) 高校生 ニーアン・ポリテクニクを訪問しました。私たちは日本や福山高等学校についてプレゼンをしたり、実際にソーラン節を踊り、体験してもらいました。みなさん楽しんでくださり嬉しかったです。紙飛行機の折り紙もとても楽しんでいました。日本の文化を通じて違った国同士の人々が仲良くなれるのは素晴らしいことです。 また、私はとても素敵な友達を作ることができました。マレーシアの女性で、とても気が合いました。国は違っても、私は共感することができるし、分かち合えます。お別れはとても寂しかったですが、この関係を大事に、明日の交流も頑張ります。
	2026 年 2 月 26 日 (JENESYS2025 日本・ASEAN 学生会議 (招へいプログラム) に参加したシンガポールの参加者の LinkedIn) 本プログラムでは、JENESYS ASEAN 同窓生として、バンダイナムコスタジオシンガポールへの視察と報告会に参加し、福山市立福山高等学校の参加者と相互交流したことについて紹介。

在シンガポール日本大使館への表敬訪問



大使館は右側の写真に集まっています。簡単な挨拶の後に、代表者から挨拶を行いました。
 以降、福山高等学校の学生がユニークに行ったことには、館長に賛同が得られていました。

National Youth Council

午後はナショナルユースセンター（NYC）を訪問しました。若者をさまざまな面から支える施設で、国として人を育てることや教育に力を入れている姿勢を強く感じました。説明はすべて英語で行われ、専門的な内容が多かったため、私たちは一生懸命に耳を傾け、メモを取りながら理解しようと努力しました。分からない点は勇気を出して質問し、学びを深めることができました。



バンダイナムコスタジオに訪問させていただきました

バンダイナムコスタジオを訪問し、ゲーム制作の仕事についてお話を聞きました。企画やプログラミング、デザインなど多くの分野が協力して一つの作品を生み出していることを知り、世界に向けて発信する仕事の大きさを実感しました。自分の興味や得意なことが将来につながる可能性を感じ、大きな刺激を受けました。



2026 年 2 月 6 日（福山高等学校の Web サイト） 「JENESYS シンガポール渡航」

研修初日です。午前中は在シンガポール日本大使館への表敬訪問。

午後はシンガポール国立青少年評議会（NYC）を訪問しました。若者をさまざまな面から支える施設で、国として人を育てることや教育に力を入れている姿勢を強く感じました。説明はすべて英語で行われ、専門的な内容が多かったため、私たちは一生懸命に耳を傾け、メモを取りながら理解しようと努力しました。分からない点は勇気を出して質問し、学びを深めることができました。

そして、バンダイナムコスタジオを訪問し、ゲーム制作の仕事についてお話を聞きました。企画やプログラミング、デザインなど多くの分野が協力して一つの作品を生み出していることを知り、世界に向けて発信する仕事の大きさを実感しました。自分の興味や得意なことが将来につながる可能性を感じ、大きな刺激を受けました。



2025 年 2 月 9 日（ジャパン・クリエイティブ・センター（JCC）の Instagram）

「Japanese Youths sharing their SG visit under JENESYS Programme」

広島県福山市立福山高等学校のグループが、2 月 9 日にジャパン・クリエイティブ・センター（JCC）で登壇し、JENESYS プログラムのもとで実施された日本・シンガポール SDGs 交流のハイライトを発表しました。本セッションは、矢澤皓子二等書記官の開会挨拶で始まり、生徒たちはシンガポールでの学びの旅について熱意をもって語り、テマセク・ポリテクニク（TP）、アワ・タンピネス・ハブ、マリーナバレーなどの訪問から得た学びを共有しました。特に、シンガポールの教育制度、多民族社会、持続可能性への取り組み、廃棄物管理の実践などについての気づきを強調しました。また、振り返りにとどまらず、日本に持ち帰って実践したいアクション・プランやアイデアも提案し、「学びを行動へ」とつなげる姿勢を示しました。（後略）

6. 報告会での渡航成果とアクション・プラン発表（抜粋）

全 1 グループ発表



【成果の発表】

◆ プログラムでの学び

- ・ 学校交流をした学校には、広い図書館や気軽に人が集まれる空間がたくさんあり、学習環境が整っていました。
- ・ 日本とは異なる教育システムであり、高等教育機関では非常に専門的な教育を受け、企業との協働なども行われていました。
- ・ 多文化共生、英語を共通語としながらも、中国語やマレー語も学習しています。
- ・ 一滴の水も無駄にしない、シンガポールの持続可能な水の循環について学習しました。
- ・ マリーナバレーでは、川の河口にダムを造り、海水と川の水を完全に分けることによって、巨大な雨水の貯水地を作り、飲み水として循環させていました。
- ・ 複合施設であるアワ・タンピネス・ハブは、雨水をトイレなどに循環させ、また屋上植物栽培に利用し低所得者に提供することで社会に還元しています。また施設内から出る生ごみを施設内で処理して肥料として利用していました。

【アクション・プラン】

①子ども新聞の発刊

- ・ 子ども新聞を発行して、子どもにも理解できる言葉で情報を発信したいと思います。
- ・ 世界には異なった社会があり、異なった文化があることを子どもたちに知ってもらうことを目的としています。
- ・ 子ども新聞は地域の小学校に配り、公民館に張り出してもらいたいと思います。

②発信・交流

- ・ 自分たちがプログラムを通じて学んだことを、さらに発信します。
- ・ 国際交流や、国際交流に関わるボランティアに参加します。

③学校給食による食品ロスの減量

- ・ 学校給食による食品ロスは生ごみ廃棄量を減らすために、生ごみをコンポストとして学校での植物栽培の肥料に使用します。
- ・ この提案を福山市役所経済環境局に提案したいと思います。

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）